

日本歯科新聞

2016年 (平成28年)
11月29日

＜発行所＞ 日本歯科新聞社
〒101-0061 東京都千代田区三橋町一十五-二
FAX 03(3334)1475
厚生労働省認可(ラ)加配登

年間購読料19,440円(送料込) (本体18,000円+税) 本紙のサイトとメールアドレス
www.dentalnews.co.jp
月4回、火曜日発行 jdn@dentalnews.co.jp
郵便口座番号 00120-5-130369

今週の紙面

日歯ら税制改正で与党に働きかけ
福島沖地震、歯科に被害なし
海外ニュース

時を縫いつないで
パッチワークキルト展
11/3(木)~12/25(日)
歯ART美術館
http://ha-art.com/
U 有限会社 堀田精徳研株式会社

MORITA
100+ Years
A Century of Innovation

コラム

明日へのカルテ

口腔機能低下症

概念と診断基準発表

日本老年歯科医学会(櫻井理事長)は、歯科界が新たに疾病として位置付けたい「口腔機能低下症」の概念と診断基準を発表した。「健康」と従来からある「口腔機能障害」の途中段階に「オーラルフレイル」と「口腔機能低下症」があると仮定して見解をまとめたもので、七つの評価指標のうち三つに問題があった場合を「口腔機能低下症」と定めている。22日に東京都千代田区の東京歯科大学で報道説明会を開いた。

日本老年歯科医学会

オーラルフレイルや口腔機能低下についてさまざまな用語が話題に上がってきているものの、確立した定義がなく、国民および医療従事者にとっても不利益になるなどの考えから定義付けに着手。口腔機能障害にならないまでも機能低下を示す状態で、オーラルフレイルよりも悪化した状態に



同症について説明する
櫻井理事長

「口腔機能低下症」を位置付けている。診断では、①口腔不潔②

- ③咀嚼力低下④舌口唇運動機能低下⑤低舌圧
- ⑥咀嚼機能低下⑦嚥下機能低下のうち、三つを満たしたものと定義。それぞれの評価基準では、①は細菌カウンタによる総微生物数で6.5Log10(CFU/ml)以上、②は口腔水分計ムースカで27.0未満、③はオクルーザルフェイスで20

ON未満、④はオーラルデ
イアドコキネスを使用し、
「パ」タ、「カ」の発音いず
れかが毎秒6回未満、⑤は
JMS舌圧測定器で30kPa
未満、⑥はグミゼリーで
の咀嚼率検査で100mg/dL
未満、⑦は嚥下スクリー
ニングツールの「EAT-10」
で3点以上としている。

「口腔機能低下症」の疾患
概念と診断基準を明確に打
ち出していくことで、「オー
ラルフレイル」には地域保
健事業や介護予防事業によ
る対応、「口腔機能低下症」
にはスキルを有する医療職
による専門的な対応と、こ
れまで漠然としていた口腔
機能低下へのアプローチを
推進する狙いがある。学会
の発表した論文では、今後
の課題として診断基準につ
いて多角的な臨床研究によ
りアップデートしていく必
要性に言及しており、健康
長寿達成のために口腔機能
低下への対応の必要性を社
会が認識できるように取り
組んでいきたいとしている。